事務局ニュース10-NO.5 2010. 11. 20 埼玉県学童保育連絡協議会
〒 330-0854 さいたま市大宮区桜木町４－１００５
TEL048-644-1571 FAX 048-644-1572
http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/ Ｅメール gakudoust@yahoo.co.jp
【郵便振替】00160-7-93727 埼玉県学童保育連絡協議会

①県との話し合いへの多数のご参加ありがとうございました。
11月25日に副知事面談 お手元の陳情署名を送って下さい！

②12月４日（土）の代表委員会にご出席下さい。
「子育て新システムと学童保育」の学習会もあります

■ 県連協からの報告（^_^）v

１．埼玉県の動き

（１）平成22年度放課後児童指導員研修会（第38回指導員学校）が開催されました
埼玉県・埼玉県学童保育連絡協議会共催 10月３日（日） 於埼玉県立大学
参加者は、55市町（全64市町村）922人（※昨年度＝61市町村／全70市町村、943人）でした。
全体会では、大宮勇雄さん（福島大学教授）が、「成長するとは、子どもが学ぶということ～放課後の生活と子どもの成長」と題して講義しました。午後は18分科会が行われました。

（２）県庁ＨＰに「埼玉県子育て応援行動計画（後期計画）」 がアップされました

（３）少子政策課の動き
１.「いきいき応援隊」実施は31クラブ 希望クラブは213でしたが…
10月18日付けで実施状況が報告されました。応援隊人数は68人。支援した学童保育数は31クラブのべ215回（支援希望クラブ数は213クラブ）。活動内容は、「紙芝居や絵本の読み聞かせ」「戦争体験談」「マジック」「音読や計算ドリル、漢字等の宿題見守り」等でした。

２.第11回学童保育指導員新人研修会（平成22年度放課後児童指導員新任研修会）を開催します
昨年度初めて、埼玉県と県連協との共催で開催しましたが、今年度も３月21日（月）、さいたま共済会館にて開催します。

２．国の動き

（1）11月９日、民主党「学童保育ワーキングチーム」がさいたま市からヒアリング

民社党は8月27日、「子ども・男女共同参画調査会」の下に「学童保育」など４つのワーキングチームを発足させ、9月以降、討議を進めています。９月10日には全国連協へのヒアリングがされ、11月9日には、さいたま市と逗子市からヒアリングを行いました。

さいたま市役所から、国へ①補助額と補助率の引き上げ　②開設補助の長期継続　③指導員の資格認定の創設④特別支援学校学童保育への補助制度の創設の4点を要望。「子ども・子育て新システム」に対しても、①専門性に見合った指導員処遇が必要②学童保育は学校敷地・学校近くが原則なことと、運営状況の厳しいクラブも多く、競争原理を促せるような事業環境にはないとの懸念を表明しました。

（2）11月15日、「子ども・子育て新システム」ＷＴで「放課後児童給付」を議論

11月15日（月）、「子ども・子育て新システム検討会議」の基本制度ワーキングチームで「放課後児童給付（仮称）」について検討が行われました。全国学童保育連絡協議会が意見を述べました（**▲別添**）。

厚生労働省から、「新たな制度」の案が示されました（**▲別添**ｼﾛ12～14ｼﾞ）。基本的に学童保育は「市町村が地域の実情に応じて、サービスの提供ができるような事業形態とする必要がある」というもので、「個別給付」ではない形で整備する方針となっています。また、「全国一律の基準を設けることが必要」という方針も示されています。

議論では、地方６団体の代表から「地域主権が基本なので全国一律の基準はやめてほしい」との意見が相次いで出されたり、「放課後子ども教室との一体化をすべき」との意見も複数の委員から出されました。一体化については、最後に小宮山洋子副大臣から「一体化はできない」とのまとめ発言もありました。「放課後児童給付（仮称）」は、もう一回検討する予定です（日程は未定）。

３．県連協等のとりくみ

（1）障害児学童保育ブロックと県との話し合い　10月28日（木）　於さいたま共済会館

障害児学童保育の問題について県少子政策課と話し合いが行われ、13クラブ36人が参加しました。

（2）2011年度予算に向けた県との話し合いに200人超11月11日　於さいたま共済会館

県から少子政策課長ら8人、県議４人が出席。学童保育側は200人を上回る参加がありました。

財政状況の厳しさもあり、「分割新設クラブも含めたすべてに補助できるよう努力する」という答弁以外は、回答は全般的に明快ではありませんでした。ただ、新座市が大規模学童保育を放置している問題については、「課長自らが新座市を訪問した」との発言には、驚きの声が挙がりました。

※話し合いの詳細は追って、全世帯ニュース『さいたまの学童ほいく№３』でお知らせします。

（3）「障害児の放課後活動の制度化を」求めて推進会議と国会へ要請行動

政府内では現在、「障がい者制度改革推進会議」において障害者自立支援法に代わる新法づくりの議論が進められています。障害児の放課後活動の制度化の問題については、６月７日に同会議「総合福祉部会」が「放課後デイサービスの充実」を提起しています。障害児の問題については、10月から「障がい者制度改推進会議」と同「総合福祉部会」との合同で**「障害児支援チーム」**を設けて議論行っています。また、与党・民主党としても「障がい者政策プロジェクトチーム」を発足させ、各団体からのヒアリング等を行っています。

「障害のある子どもの放課後保障全国連絡会」（略称：全国放課後連、埼玉県連協障害児学童保育ブロックも加盟）として、11月8日（月）「障害児支援チーム」の一員である**柏女霊峰氏**（淑徳大学教授）を訪問して、要望を届けました。

また、11月15日（月）には、各政党との懇談が行われました。**民主党**は「障がい者政策議員連盟」9人の国会議員が、他１団体と同席で１時間対応して下さいました。**共産党**1人、**公明党**1人の国会議

員の方ともじっくり懇談することができました。自民党、社民党は窓口で秘書が対応してくれました。

（4）『日本の学童ほいく』誌特別還元金「大規模改善助成金」　18件を補助

18件、約195万円（予算350万円）の申請があり、11月10日の運営委員会で承認しました。

（5）県連協として市町村へ２つの調査を実施。後日、結果を報告します

１つは、**「大規模問題追跡調査第３弾」**で、一昨年8月、昨年5月に続いてのものです。市町村が大規模学童保育の解消をどのように進めようとしているかを調べるものです。

2つめは、**「学童保育実態調査第２弾」**です。第１弾の結果は、『埼玉の学童ほいくー2010年度資料集』で紹介していますが、第2弾として、指導員の身分・労働条件、経験年数等を調べています。

４．全国学童保育連絡協議会のとりくみ

（1）第45回全国学童保育研究集会が開催されました　10月30日～31日　於千葉市

参加者総数は4,259人。埼玉から約450人（目標500人）が参加しました。

集会に埼玉県知事から以下の祝電が届きました。都道府県知事からの祝詞は、開催地を除くと埼玉のみです。

> 第45回全国学童保育研究集会の御盛会をお祝いいたします。すべての子どもたちの健やかな成長を願うとともに、今回の研究集会が実り多いものとなりますよう、御期待を申し上げます。
>
> 平成22年10月30日　埼玉県知事　上田清司

田中孝彦さん（武庫川女子大学大学院教授）が、「子どもの育ちと親の暮らしを支える学童保育の仕事」と題して記念講演を行いました。

（2）2010年度全国連協総会が開催されました　10月29日（金）、於千葉市

６年間会長の任に当たられた山本博美さん（草加市指導員）が退任し、木田保男さん（前事務局長、東京都小平市ＯＢ）にバトンタッチしました。また、副会長として埼玉から片山恵子さん（さいたま市指導員）、河野伸枝さん（飯能市指導員）が再選されました。

県連協からお知らせ・お願い　(^0^)

１．来年度県予算要望に関わるとりくみ

（1）11月25日に副知事との面談が入りました。知事へ陳情署名をお送り下さい

例年より早く副知事との面談が11月25日（木）に入りました。お手元にある知事への陳情署名を23日までにお送り下さい。後から届いた署名も後日届けますので、有効です。

（2）地元選出の県議会議員、国会議員さんと懇談しましょう！【再度】

２．『学童ほいく』誌の定着・普及・拡大を

地域連協・クラブの会議で話し合って下さい。県連協からもお願いにうかがいます。**【再度】**

３．県連協　当面の予定

（１）第３回代表委員会のお知らせ　12月４日（土）18:00開場　於さいたま市桜木公民館５Ｆ

【内容】

１．ＶＴＲ視聴　ＮＨＫ教育テレビ「あしたをつかめ　平成若者仕事図鑑　学童保育指導員」

２．報告

①2011年度県予算へのとりくみの中間まとめ（11月11日の話し合い、25日の副知事との面談）

②県連協「第２次実態調査結果」中間報告　③県連協「大規模学童保育追跡調査結果」報告　等

３．交流・討議

①来年度予算に向けた私たちのとりくみと市町村の動き・状況の交流

②県指導員連絡協議会の専従配置に対して県連協としての支援について　決定

４．学習　「子ども・子育て新システムの動きの現状と学童保育の行方」

講師＝木田保男さん（全国学童保育連絡協議会会長）

（２）県連協主催の行事予定　どなたでも参加できます

１．第12回学童保育指導員労働問題基礎講座（**▲別紙ﾌﾞﾙ-**）

【テーマ】「指導員の雇用・労働条件の改善を進めるために～文京区の学童保育が区の正規職員複数体制を維持できているヒミツ～」【講師】高橋誠（東京都文京区柳町第２育成室指導員）

11月25日（木）　於さいたま市産業文化センター

２．第10回集中講座・障害児の生活づくり（▲別紙ﾚﾓﾝ）

１回目＝12月12日（日）　２回目＝２月20日（日）　於埼玉県県民活動総合センター

３．第32回埼玉県学童保育実践交流会　２月27日（日）　於埼玉県県民活動総合センター

４．第38回埼玉県学童保育研究集会　５月29日（日）　於上尾市文化センター

※会場として当初、大宮ソニックシティーを予定していましたが、変更になりました。

＊「日本の学童ほいく」誌12月号　埼玉の執筆者・登場者の方々です　＊

①特集　さいたま市NPO大宮南なかよしキッズ指導員　②子どもクイズらんど　１名当選　③子どものひろば　作文　さいたま市バイキングクラブ５年生　④イラスト　さいたま市大宮小あおぎりっ子１年生　⑤読者のひろば　さいたま市保護者　⑥イラスト　さいたま市見沼小学童保育どろんこクラブ　⑦ねっとわーく 埼玉県連協　⑧地域連絡協議会のページ 第10回集中講座「障害児の生活づくり」の案内